

平成 17 年 1 月 21 日

各 位

東京都千代田区二番町5番地5
2 1 L A D Y 株 式 会 社
代表取締役社長 広 野 道 子
(本 名 : 藤 井 道 子)
(コード番号:3346)
問合せ先:取締役 吉川 正 英
(TEL 03-3556-2121)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年9月29日に公表した平成17年3月期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1.【連結】

平成17年3月期通期業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,194	114	62
今回修正予想(B)	3,816	14	50
増減額(B-A)	378	100	112
増減率(%)	9.0	87.3	
(ご参考)前期実績(平成16年3月期)	4,111	29	14

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 1,158円23銭

2.【単体】

平成17年3月期通期業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	504	62	37
今回修正予想(B)	428	58	24
増減額(B-A)	76	4	13
増減率(%)	14.9	6.6	34.7
(ご参考)前期実績(平成16年3月期)	379	25	12

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 561円35銭

3. 修正の理由

連結

当期においては、連結子会社であります株式会社洋菓子のヒロタの再生を加速してまいりました。今後の基盤づくりとしてのヒロタ事業の経営基盤の構築を考え、出店等の加速を期初より計画しておりましたが、投資パッケージに合うより収益性の高い物件への出店に基準をあげることによって期初計画の通りに発掘することができず、期初の計画を下回る見込みとなりました。また、昨年における台風の影響や鳥インフルエンザに起因する鶏卵の高騰による原材料費の増加等の外部要因も利益を圧縮させる結果となりました。

ヒロタ事業におきましては今後も、より収益力の高い投資パッケージにおける出店により、強固な経営基盤の構築を目指していきたいと考えております。

また、連結子会社であります株式会社リテイルネットの事業である「CHOUFACTORY」におきましては、今後の経営の効率化を図るため、不採算店舗の退店損失等を計上いたしました。その結果、当期における連結子会社としての計画を達成することは難しい見込みとなりました。

以上の結果、通期においては、売上高予想 4,194 百万円に対して 3,816 百万円、経常利益予想 114 百万円に対して 14 百万円、当期純利益予想 62 百万円に対して 50 百万円の見込みとなりましたので、予想を修正させていただきます。

単体

当期の売上高につきまして、当社単体の主要事業の一つであるコンサルティング(投資)事業が堅調な実績を出し、期初の計画を上回る業績を達成することができており、直接投資、ファンド事業と今後の事業展開において期待のできる結果となると見込んでおります。

一方、ロイヤリティ収入は連結子会社の業績に連動しており当期のビジネスモデルの中で期初の計画の予算を達成するに至らない見込みとなりました。

以上の結果、通期においては、売上高予想 504 百万円に対して 428 百万円、経常利益予想 62 百万円に対して 58 百万円、当期純利益予想 37 百万円に対して 24 百万円の見込みとなりましたので、予想を修正させていただきます。

また、上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上